年間授業計画 新様式

八王子北 高等学校 令和７年度　　教科　　芸術　　科目 書道Ⅰ

教　科： 芸術　　科　目： 書道Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

教科担当者：

使用教科書：（ 光村図書　書道Ⅰ　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるように

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
優れた古典作品に触れ、その制作の背景を学び書体や作品の特徴的筆法・書風を理解し、臨書作品の制作に活かせる。	紙のサイズに合った線の太さや字の大きさを理解し、バランスの取れた作品に仕上げることが出来る。書の良さ、美しさ感受し、意図に基づいた構想を表現出来る。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、書の伝統と文化を感受し、日常における調和のとれた手書き文字を表現出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	A 単元　オリエンテーション 【知識及び技能】 書道で学習する内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 書写と書道の違いについて学習する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 書写と書道の違いについて学習する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用	○	○	○	○	【知識及び技能】 書写と書道の違いについて理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 今後、指示通り用具の扱いができるか。			○	2
	A 単元　楷書の学習 【知識及び技能】 楷書の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 唐の四大家について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた手書き文字を表現出来る。	・指導事項 唐の四大家の作品を比較する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用		○		○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 半紙にバランス良く表現できたか。	○	○	○	12
	A 単元　行書の学習 【知識及び技能】 行書の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 王羲之、空海などについて学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた手書き文字を表現出来る。	・指導事項 様々な行書作品を比較する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用		○		○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 半紙にバランス良く表現できたか。	○	○	○	10
2学期	A 単元　仮名の学習 【知識及び技能】 仮名の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 高野切等について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた手書き文字を表現出来る。	・指導事項 様々な仮名作品を比較する。 ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用			○	○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 料紙にバランス良く表現できたか。	○	○	○	26
3学期	A 単元　漢字仮名交じりの学習 【知識及び技能】 漢字仮名交じり書の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた手書き文字を表現出来る。	・指導事項 漢字と仮名の表現を調和させる。 ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用	○			○	【知識及び技能】 漢字と仮名の調和についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 半紙・色紙にバランス良く表現できたか。	○	○	○	20
											合計 70